MV22オスプレイの横田基地における飛来や離着陸等訓練に断固反対し、中止を求める抗議決議

アメリカ軍の新型輸送機「オスプレイ」が7月19日午前、横田基地に着陸した。

オスプレイ2機は、山口県の岩国基地を出て、横田基地で給油を済ませ、札幌での航空イベントに参加した。札幌から戻ってくる21日にも再び横田基地を経由して、沖縄・普天間基地へと戻った。7月に続いて、MV22オスプレイは、8月29日に普天間から横田に飛来してきた。8月31日には、横田基地の防災訓練として、米海兵隊MV22オスプレイの離着陸が繰り返された。

横田基地周辺市町対策連絡会構成市町長は、H23年度から6度にわたり、「十分な説明責任を果たすことなく、横田基地へオスプレイが飛来することのないよう」要請している。そして9月1日にも「正確かつ詳細な情報提供を行い、基地周辺住民の安全性への懸念が払拭されないまま横田基地への飛来や訓練が行われることのないよう、米国に働きかけることを強く要請します」との要請がなされている。都知事初め近隣自治体からの要請を無視して行われたオスプレイの訓練については、強く抗議する。

MV22オスプレイは開発段階から墜落事故が相次ぎ、米国防務省がまとめた報告書でさえ、エンジンや飛行制御システムの欠陥が指摘され、技術的な問題に加え、安全性に疑問が持たれてきた。事実、ことし6月17日には、沖縄ではオスプレイの部品が落下をし、沖縄県民に不安を与えている。

横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、これまでも航空機騒音に悩まされ続けてきており、オスプレイの飛来や訓練による部品の落下や墜落事故に対する近隣住民の不安は計り知れない。本市は、横田基地に隣接しているわけではないが、オスプレイが本市の上空を飛ばないという保証はない。

よって、本市議会は、東京の空の安全、三鷹市民を初め都民の命と財産、安全を守る立場から、MV22オスプレイの横田基地への飛来や訓練に断固反対するとともに、下記事項について強く要求する。

記

- 1 MV22オスプレイの米軍横田基地における飛行訓練を行わないこと。

上記、決議する。

平成26年9月30日

三 鷹 市 議 会